

Porsche Bike S 展示紹介



メルセデス・ベンツの軽快車(?)に続き、新発売となったのがポルシェのMTB。前者はドイツ国内のみの発売であったようだが(日本でも販売決定)、こちらは日本の輸入代理店が、積極的に販売展開をしており、ポルシェオーナーを中心に、そこそこ売れているようだ。

ヨーロッパ圏では、昔から自転車は乗り物という範ちゅうに入る商品で、バイクメーカーや、自動車メーカーからの供給も珍しくない。

今回展示用に入手したのは、エラストマを使ったフロントサスのみのタイプである。オリジナルのフロントサスやハンドルステム周辺はほどほどの仕上がりであるのに対し、価格のせいか他のスモールパーツの仕上げが、ポルシェのブランドイメージにしては、かなりお粗末な感じは否めない。

ヨーロッパ製のMTBパーツは一部の商品を除き、日本への紹介例が極端に少ないのが実情である。個々の紹介は省略するが、締め上げの最終段階でカチッとクリック音のするザックスのQRレバー、日本ではまず見かけない同社のトランスミッション、レバーの引きは少し重い感じだが片利きの少ないマグラ製油圧キャリパブレーキ、リジダのエアロMTBリムなど、カタログでない実物は手を触れて使ってみると、それなりに各メーカーの意図が伝わってくる物である。